

製品名: ATPB ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21466**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:57kD;Observed MW:52kD

抗原情報

遺伝子名	ATP5B
別名	ATPMB ATPSB
遺伝子 ID	506.0
SwissProt ID	P06576
免疫原	ヒト ATPB の合成ペプチド

背景

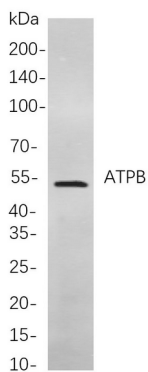
細胞局在: ミトコンドリア内膜。この遺伝子は、ミトコンドリア ATP 合成酵素のサブユニットをコードします。ミトコンドリア ATP 合成酵素は、酸化的リン酸化反応中に内膜を横切るプロトンの電気化学的勾配を利用して ATP 合成を触媒します。ATP 合成酵素は、

可溶性触媒コアであるF1と、プロトンチャンネルを構成する膜貫通成分であるFoという、2つの連結した多サブユニット複合体で構成されています。ミトコンドリアATP合成酵素の触媒部分は、5つの異なるサブユニット(α 、 β 、 γ 、 δ 、 ϵ)から構成され、 α サブユニット3個、 β サブユニット3個、および他の3つのサブユニットを代表する1個という化学量論で組み立てられています。プロトンチャンネルは3つの主要なサブユニット(a、b、c)で構成されています。この遺伝子は、触媒コアの β サブユニットをコードします。
[RefSeq提供、2008年7月]

研究分野

-

画像データ



ATPB ウサギ mAb を用いたラット脾臓細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。